



東京都議会議員（文京区選出）  
都民ファーストの会東京都議団

# 増子 ひるき

プロフィール

平成3年～17年文京区議会議員（4期）、平成11年～12年第35代文京区議会議長、平成17年～25年、平成29年～令和5年東京都議会議員（4期目）、平成29年～令和3年議会運営委員会委員長、平成29年～令和4年都民ファーストの会東京都議団幹事長、現在は都民ファーストの会東京都議団顧問

令和4年第四回定例会が12月15日に閉会、補正予算1,162億円を可決成立しました。

コロナや物価高から都民の暮らしを守るとともに、環境・エネルギー政策の歩みを加速させます。

来年度予算編成に向けて、子ども・子育ての取り組み強化を実現していきます！

## ① 出産応援事業

継続へ！

都民ファーストの会東京都議団が提案して一昨昨年実現した「出産応援事業」を継続・充実させます。

2021.1.1以降の新生児について、1人当たり10万円相当の育児用品・子育て支援サービスを利用できます。

- 【国にも影響】東京都を参考に、国も2023.1.1から出産支援クーポン事業を開始予定
- 国の事業とも整合性を取りながらさらに使いやすく子育て負担の軽減になる仕組みにしていきます。

## ② 子供の遊び場の確保

新規に支援！

東京都が財政的な支援を行って、区市町村による身近な子供の遊び場確保を強力に後押しします。身近な公共施設や公共空間への遊び場の導入や改修を促します。

### プレーパークも都で初めて支援

どろんこ遊びやものをつくったり、子供たちが自由な発想で外遊びを楽しむことができる、いわゆる「プレーパーク（冒険遊び場）」に取り組む区市町村やNPOなどを支援します。プレーリーダーの育成等にも取り組みます。

## ③ 子供の安全対策

補正予算36億円！

昨年9月の都議会で提案した「保育園等の送迎バスにセンサー等の安全装置導入」をすぐに実施できるよう、緊急支援策を補正予算で成立させました。

### 園児置き去り防止の緊急対策

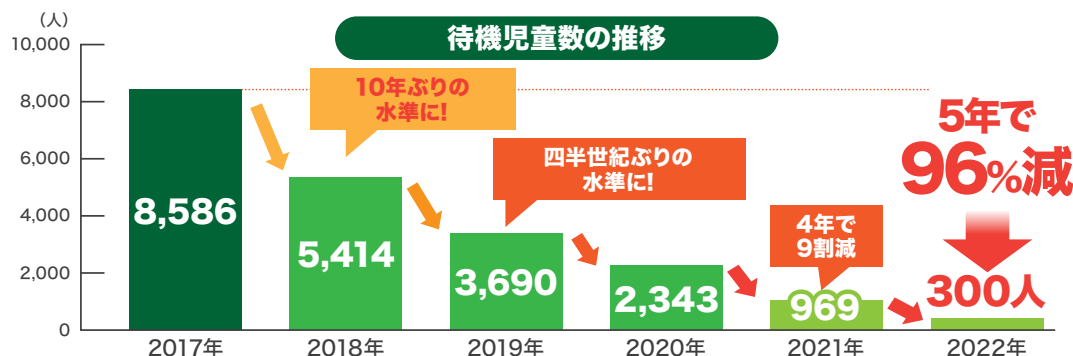
保育園・幼稚園に加えて特別支援学校や学童クラブなども対象に、送迎バスへのセンサー等の安全装置設置やお昼寝中の事故防止機器等を助成します。

- 来年度に向けて、乳幼児等の家庭内での事故防止等についても科学的検証と対策を講じていきます。

## ④ 待機児童はほぼ解消！

実現！

都民ファーストの会東京都議団が一丁目一番地として5年間議会で取り上げ続け、長年の課題だった保育園の待機児童問題を大幅に減らすことができました。（2016年以前は8,000人台で推移→2022年300人まで改善）今後は、学童保育の待機児童解消、保育の質の向上、認証保育園を新たな役割でも活用していくことなどに力を入れていきます。



子供を産み育てたい人を応援

卵子凍結に対して新たな支援を講じていくことが決定！



都民ファーストの会  
東京都議団 政務調査会長  
後藤なみ

2022年12月7日 代表質問（後藤なみ）

私たちはかねてより、東京で働く夫婦の実態を踏まえ、不妊治療の負担軽減等の取り組みを進めてきました。妊孕性を高め不妊治療の短期化も期待される取り組みとして、海外ではすでに選択肢として普及している卵子凍結に対しても支援を創設すべきと考えますが知事の見解を求めます。また、身体に残された卵子の目安を知り、妊活・不妊治療に活かすことのできるAMH検査に対して、不妊治療に至る前に若年世代が受診できるよう支援を拡充するよう求めます。

知事答弁（小池百合子）

子供を産み育てたいと望んでいるものの、様々な事情によりすぐには踏み切ることができない方にとって、卵子凍結は将来の妊娠に備える手段の一つであります。これまで都は、若年がん患者等が、治療に伴う負担や将来への不安を軽減できるよう、生殖機能温存にかかる費用を支援してきました。こうした医学的適応とは別に、健康な女性の間で、「将来の選択肢としての卵子凍結」への関心が高まっています。この、いわゆる「社会的適応」については、様々な議論がなされていますが、都としては、子供を望む方に対する支援の充実という観点から、対応を検討してまいります。



東京都知事  
小池百合子

# 中長期的な視点で都市づくりを進めていきます。特に鉄道ネットワークと併せて利便性を高めます。

## ① 鉄道網の強化に向けて大きく前進しています

国の答申を踏まえ、都は2018年に「6路線」について整備計画の検討加速を表明。東京メトロの収益配当金を原資として、基金を新設して財源の積み立てを開始すると共に、採算やルート等を検証するための調査費を増額して関係自治体との協議を加速してきました。さらに、東京駅から築地市場跡地や臨海部を通り羽田方面に接続する「臨海地下鉄」についても2022年11月に事業計画をまとめました。

	区間	現状
羽田空港アクセス線	田町など⇄羽田空港	事業許可(田町ルート)
多摩都市モノレール延伸 北側	上北台⇄箱根ヶ崎	調査、設計
多摩都市モノレール延伸 南側	多摩センター⇄町田	ルート案公表
新空港線(蒲蒲線)	蒲田⇄京急蒲田	都と区が負担割合合意
有楽町線延伸	豊洲⇄住吉	事業許可
南北線延伸	品川⇄白金高輪	事業許可
大江戸線延伸	光が丘⇄大泉学園町	実現に向け検討中
臨海地下鉄	銀座地区⇄臨海部	実現に向け検討中

## ② 羽田空港アクセス線の開設へ

「東山手ルート」(羽田空港新駅～東京貨物ターミナル～田町駅～東京駅)について、2021年に国の事業許可があり、JR東日本が2029年を目標に整備を進めています。大井町駅を経由して新宿駅さらには中央線に接続する構想のある西山手ルートや、臨海部ルートの検討も進んでいます。



## ③ 多摩都市モノレールの南北延伸へ

鉄道交通の空白地帯である、北部延伸(上北台駅～箱根ヶ崎駅)と南部延伸(多摩センター駅～町田駅)を進めています。特に北部延伸は設計を開始し、都市計画素案を昨年11月に公表、2030年代半ばの開業を目指しています。



## ④ 地下鉄3路線の延伸へ

東京メトロ「有楽町線の豊洲駅-住吉駅間」、「南北線の品川駅-白金高輪駅間」、都営「大江戸線の光が丘駅-大泉学園町間」をそれぞれ延伸させることで地下鉄網の利便性を高めます。関係自治体との協議や費用負担の合意形成などを進めています。



## ⑤ 新空港線(蒲蒲線)の接続へ

JR/東急蒲田駅と京急蒲田駅を接続させて利便性を高めます。事業の負担割合について東京都が3割・大田区が7割として整備することが決まり、今後事業が本格化します。



## コラム 多摩地域から羽田空港へのアクセス改善に取り組むべき 提案しています

### 課題

多摩地域の多くは空港へのアクセスが悪く、所要時間が1時間以上、3回以上の乗換えを要するエリアがほとんどであり、今後、多摩地域に住む都民の利便性を高め、競争力をさらに高める上で、特に羽田空港へのアクセス向上は必要不可欠。

### 都民ファーストの会東京都議団からの提案

貨物路線などの既存インフラを活用して羽田空港へ直結する路線について、調査検討するよう提案しています。

#### 武蔵野南線の旅客化

武蔵野線の貨物路線がつながっている府中本町から鶴見間と、その先の貨物路線を旅客利用することで、多摩地域から羽田空港に直結することが可能になります。

#### 南武支線の延伸

南武線の南武支線である尻手駅～浜川崎駅を経由して、羽田空港まで延伸することで多摩地域から羽田空港に直結することが可能になります。

また、空港アクセス線(上述)の西山手ルートが整備されれば、羽田空港～新宿駅間の所要時間が23分へ半減、新宿駅からさらに中央線への直通運転されれば多摩地域から羽田空港へのアクセスが改善します。

## 子育てにやさしい環境づくりを進めています。 都民ファーストの会東京都議団が提案して実現!

### 多摩都市モノレールに「子供特別割引」と子育て応援シートを導入

2022年、小学生100円で1日乗り放題の「たまモノこどもワンデーパス」を導入。今後本格的な割引運賃の導入を提案しています。また、子育て応援シートを導入し、親子が気兼ねなく乗車できる環境をつくりました。子育てしやすい環境をつくり、沿線価値の向上を実現します。



### 都営地下鉄の全線に「子育て応援スペース」を導入・駅構内に「授乳スペース」設置開始

2019年に都営大江戸線で開始した「子育て応援スペース」を2022年、新宿線と浅草線にも導入。相互直通している私鉄(京王電鉄、京浜急行電鉄、京成電鉄、北総鉄道、芝山鉄道)内も走行します。また、新御徒町駅に授乳スペースを新設、今後設置駅を増やしていきます。社会全体で子育てを応援する気運を醸成していきます。



都政・都議会についてのご意見・ご要望をお聞かせください

増子 ひろき

連絡先住所 〒112-0012 東京都文京区大塚5-20-5  
E-mail : mail@masuko.tokyo